

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	学校給食就学援助事業		
根拠法令等	学校教育法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	市内小中学校の児童生徒の保護者のうち準要保護世帯に対して
手段	学校給食に係る経済的負担を軽減することにより
想定する成果	義務教育の円滑な実施に資する

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
援助対象児童生徒数	3,904人	4,058人	4,245人
援助対象延給食数	60,377食	61,296食	64,541食
給食扶助費	13,357,620円	13,547,640円	14,236,380円

成果指標

成果指標名	援助対象児童生徒率	一人当たりの援助額(年間)
成果指標の説明	援助対象延給食数/年間総給食数×100	給食扶助費/(援助対象児童生徒数/11)

事業の進捗状況 一般会計

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	3.8%
	実績	3.3%	3.6%	
成果指標	計画	-	-	
	実績	38	37	37
事業費	事業費	13,358	13,548	14,236
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	15,030	15,201	15,920
財源内訳	国	3,858	2,989	3,621
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,172	12,212	12,299

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	準要保護世帯の認定により、給食費が扶助され、子どもの教育環境が整えられる。
経済効率性	2	2	国庫補助対象事業である。扶助費であるため、コスト比較はできない。
事務効率性	2	2	認定に当っては、学校長、地区民生委員に委ねているため、事務的に年間を必要とする。
必要性	3	3	義務教育の就学にあたり、経済的に不安定な世帯を援助する、必要不可欠な制度である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市広報に制度記事の掲載及び、学校からの制度の印刷物の配布により、行き詰まる世帯のないように啓蒙している。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	生活保護を受けるまでではないが、一步手前の準要保護の制度を活用することによって、「頑張る世帯の応援制度」として、定着している。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

準要保護世帯の認定は、従来年度当初一括であったが、随時受付をし、その都度認定をすることとした。また、広報にも準要保護の制度記事を記載している。

今後改善すべき点

現在の経済事情からすると、今後増えることが予測される。

平成16年度予算に反映する項目

経済環境（なかなか好転化しない）、家庭環境（離婚家庭の増）などを鑑み、若干増の予算見積りの予定。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	ドライシステム化推進事業		
根拠法令等	学校給食の衛生管理基準	A 法令	B 条例	C 規則	①その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	児童・生徒たちのために
手段	学校給食施設をドライ化することで、
想定する成果	跳ね水による、二次汚染防止や細菌の増殖を防止し、衛生的で安全な学校給食を提供する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
給食人員	10,028	9,729	9,464
年間延給食数	1,812,461	1,716,668	1,703,520
給食事故件数	0	0	0

成果指標

成果指標名	学校給食事故件数	ドライ化仕様投資額(率)
成果指標の説明	学校給食事故件数	ドライ化に向け投資した額 / 修繕料 + 消耗品費の額

事業の進捗状況 一般会計

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	0
	実績	0	0	-
成果指標	計画	-	-	5.0%
	実績	-	9.0%	-
事業費	事業費	-	1,683	1,000
	人件費	-	6,610	6,738
	(人数)	-	0.8	0.8
	合計	-	8,293	7,738
財源内訳	国	-		
	県	-		
	市債	-		
	その他	-		
	一般財源	-	8,293	7,738

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	床に水をこぼさない環境整備と作業動線の修得に一歩一歩ではあるが進んでいる。
経済効率性	2	2	ドライ仕様の新機器の購入にはかなりの支出を伴うが、現機器の改修で出費を抑えている。
事務効率性	2	2	ドライシステムの作業は効率が悪いが、実現に向け努力している。
必要性	3	3	学校給食事業の衛生管理を推進する上で必要不可欠なもの。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	作業(調理)環境の整備とともに、その変革の必要性を現場調理員とともに体得していくことが、事故防止への第一歩と考える。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・平成8年に発生した「腸管出血性大腸菌O-157」による食中毒を受け、平成9年4月1日に文部省より「学校給食衛生管理の基準」が提示された。以後、年ごとに給食施設の給食事故防止に向けての具体的な改善策が示され、文部省のみならず、厚生省（保健所）の現地立ち入りも踏まえての、ウェットシステム調理場のドライシステム化への提言がなされ、指導に基づいた施設改善がなされてきた。 ・水道蛇口にホースが着けっ放しであったが、脱着式にし、使用の都度取り付けることとした。 ・従来、長靴、ビニール前掛だけの職場であったが、短靴、布エプロンを支給し、床を濡らさない工夫を各自でするようにした。
--

今後改善すべき点

年ごとに衛生管理の基準が見直され、現場職員の作業動線が厳しいものとなっている。新学校給食センター移行まで「あと1年だから」ではなく、「まだ1年ある」の意識のもと、ドライ運用の体得と給食事故防止に心がけたい。

平成16年度予算に反映する項目

16年度も、4ヶ月は現給食センターでの調理業務はあり、それなりの「修繕料」の確保はしたい。

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	新学校給食センターシステム研究事務事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	⑤なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	新学校給食センターの建設に際し
手段	太陽光発電施設, 残菜処理施設及び強化磁器食器の導入を検討、研究することにより、
想定する成果	環境に優しい、クリーンなエネルギーシステムの導入を図り地球温暖化防止に資する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
事業内容	-	・太陽光発電施設・残菜処理機 ・強化磁器食器の導入検討	・生ごみ処理設備工事
視察件数		4件	
事業費		25	30,000

成果指標

成果指標名	事業費	
成果指標の説明	事業費	

事業の進捗状況 (一般 会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	30,000
	実績	-	25	-
成果指標	計画	-		
	実績	-		
事業費	事業費	-	25	30,000
	人件費	-	8,263	8,422
	(人数)	-	1.0	1.0
	合計	-	8,288	38,422
財源内訳	国	-		5,355
	県	-		
	市債	-		
	その他	-		
	一般財源	-	8,288	33,067

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	『強化磁器食器』 児童・生徒の健康と安全性を考え学校給食の食事環境を整え、家庭的な雰囲気を出し、物を大切にする心を養い、併せて破損等の処分品のリサイクル化を図るため、強化磁器食器を採用。
経済効率性	3	3	『太陽光発電装置』の設置により、年間約76万円の光熱費の節約が見込まれる。 『残菜処理機』の新規導入にあたっては、535万円ほどの国庫補助対象となる。
事務効率性	2	2	視察、資料収集等により、検討、研究が進んだ。
必要性	3	3	『残菜処理機』の導入 ・ゴミの減量化に率先すべき。・公共施設としてゴミを出さない。 ・従来の焼却処分方法では地球環境問題に影響あり。 ・調理場内の衛生環境の確立を考慮し、消滅型の残菜処理機を導入することとなった。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	『残菜処理方法』にあたっては、リサイクル型（たい肥製造）の導入を検討して下さい、の声も寄せられた。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	50kWの太陽光発電設備の設置により、年間約76万円の電気代の節約だけでなく、地球環境に対し、石油削減量12,300ℓ/年、CO2削減量9,100kg/年の効果が期待できる。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

今後改善すべき点

海辺に近いので、防錆対策が必要かどうかの検討が必要である。

平成16年度予算に反映する項目

経済産業省（NEDO）の地域新エネルギー導入促進事業の1/2補助申請を予定している。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	学校給食課	内線等	8010
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	新学校給食センター実施設計事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	市内の小中学校の児童生徒のために
手段	新学校給食センターを建設に係る実施設計を行い
想定する成果	安全で衛生的で環境にやさしい施設の実現を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
敷地面積		9,871.52m ²	
延建築面積	-	3,422.10m ²	-
調理能力		10,000食	

成果指標

成果指標名	実施設計委託料	
成果指標の説明	実施設計委託料	

事業の進捗状況 一般会計

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	19,993	-
成果指標	計画	-		-
	実績	-		-
事業費	事業費	-	19,993	-
	人件費	-	8,263	-
	(人数)	-	1.0	-
	合計	-	28,256	-
財源内訳	国	-		-
	県	-		-
	市債	-		-
	その他	-		-
	一般財源	-	28,256	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	ドライシステムの給食センターの建築例が少ないため、設計業者の勉強不足が否めない。
経済効率性	2	2	設計業者5社による、プロポーザル方式の入札を実施した。
事務効率性	2	2	通例の設計業者による、建築年の「設計管理委託」は行わず、建築住宅課職員による業務とした。
必要性	3	3	現給食センターの老朽化が進むなか、最新の施設の建設が望まれている。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	学校給食施設の建設に関しては、年毎に衛生管理が強化され、学校栄養士の意見の反映が重要視されている。新学校給食センターの建設にあたっては、見学者通路及び栄養指導室を設置した。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	調理能力10,000食レベルのドライ方式の学校給食センターの建築例が少なく、年ごとに改訂される「衛生管理基準」をクリアするとなると、初めての施設となるが、保健所からは、施設内容、作業動線的にはまずまずの評価を得ている。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

学校給食センターという特殊な建築物のため、給食センター建設に対する、設計者の発想・経験・能力等を図面以外の書類で審査する方法で、短期間でしかも設計経費の削減が図れるというメリットを活かし、プロポーザル方式を採用した。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載